

市政の今後10年の計画 第4次狭山市総合計画基本構想が決まる

3月定例会
2月24日～3月17日

第1回定例会では、「狭山市総合計画基本構想」や「平成28年度予算」など、31議案が市長から提出されました。議長を除く21人の議員で採決し、すべての議案を原案のとおり承認・同意・可決しました。



基本構想の審査は連合審査会で実施

主な議案審議

◆第4次狭山市総合計画基本構想

平成28年度から37年度までの10年間の計画期間とする狭山市の基本構想

《賛成多数(16名)で原案可決》

Q これまで15年だった計画期間が10年になったのは。

A 社会経済情勢の変化が目まぐるしい状況の中、的確に対応するためには10年の期間が適当と判断した。

Q 将来的な合併を視野に入れた周辺自治体との連携推進とは。

A 今すぐ合併協議ということではなく、より効果的・効率的な自治体間の連携を進めていくに当たり、実務に踏み込んだ連携をとることを示したものの、反対討論

日本共産党 猪股 嘉直
無所属 高橋フランクソシ久美子
賛成討論

公明党 綿貫 伸子

◆難病患者福祉手当支給条例の一部改正

28年度の支給額を減額するとともに、同条例を28年度末に廃止するもの

《賛成多数(15名)で原案可決》

Q 障害者総合支援法の施行

《賛成総員で原案可決》

◆国民健康保険税条例の一部改正
減免規定に特別な事由のあるものを加えるもの

《賛成総員で原案可決》

Q 減免規定の特別な事由

狭山市総合計画基本構想の審査概要

基本構想の審査は、総務経済・文教厚生・建設環境の三つの常任委員会が合同で審査する、連合審査会で行われました。

【主な審査内容】

- Q 人口14万を維持していくための主要な施策は。
- A 晩婚化対策や若い世代の定住促進、市外からの移住促進が、人口減少を抑制する施策と考える。
- Q 全国学力・学習状況調査は、全国平均値を上回る目標設定だが、達成に向けた取り組み内容は。
- A 中学生学習支援事業をはじめ、日々の授業の工夫改善や夏休みの補習学習など。
- Q 自主防災組織連合体の方策やスケジュールは。
- A 今後2年以内に、防災連絡協議会の設立に向け準備を進めていく。
※詳しい審査内容は、6月上旬から市議会HPでご覧いただけます

平成28年度 一般会計予算

歳入歳出444億8千万円

《賛成多数(16名)で原案可決》

Q マイナンバーの対象経費のうち国庫負担の割合は。

A 割合は約28%、1千409万9千円。市の負担は3千562万5千円となる。

Q 夢をかなえるプロジェクト支援の内容は。

A 次世代を担う子ども達が自らの夢を企画・提案し、行政や地域の支援を受けながら夢をかなえるというプロセスを通じ、狭山市に対する誇りと愛着を醸成させるもの。実現すれば、より狭山市に愛着を持ってもらえるものと期待している。

Q ふるさと納税運用業務代行委託料の内容は。

A 代行委託料の675万円のうち返礼の品相当分は390万円を予定。残る285万円が代手手数料だが、

行で難病患者も福祉サービスが受けられるようになったが、その概要と実績は。

A サービスは、居宅介護、就労支援、短期入所などで、実績は、居宅介護が2人、就労継続支援が1人、補装具が1人、日常生活用具2人。

Q 福祉サービスの周知徹底が大事だが、状況は。

A 施行時に広報紙に掲載したほか、ホームページに常時掲載している。また、難病患者福祉手当の振り込み通知に同封する予定である。

Q 福祉の充実とは。

A 介護等給付、訓練等給付、障害児通所給付の施策などの充実を図りたい。反対討論

無所属 高橋フランクソシ久美子



目と金額は。

A ふるさと納税事業費、学校給食事業費中のアレルギー対応食調理用備品購入費など32件、1億9千428万2千円。

Q 狭山市駅加佐志線の今後の取り組みは。

A 28年度は、用地測量業務や補償算定業務、土地評価業務などを予定。29年度以降はこれらをもとに用地取得に着手する予定で、関係権利者の理解と協力をいただきながら、早期供用に向け取り組む。

Q 笹井柏原線と菅原富士見台線の今後の取り組みは。

A 笹井柏原線は、権利者の調査や路線測量業務などを実施。菅原富士見台線は、

◆一般会計補正予算(第7号)《賛成多数(18名)で原案可決》

Q 国民健康保険法第59条に規定される給付制限を受ける世帯、生活保護法に基づく要保護世帯と同等の生活状態にある世帯、または生活保護法以外の扶助などで生活をしている世帯。

福祉給付金の対象者は。また、申請方法と申請期間はどうか。

A 27年度の臨時福祉給付金の支給対象のうち、28年度中に65歳以上となる方を対象に、一人3万円を支給。対象者には、給付金のお知らせ通知に、申請書と返信用封筒を同封し4月上旬に送付する。7月29日まで受け付け予定となっている。

Q 28年度の一般会計予算は、前年度に比べてどのくらい増減しているのか。

A 一般会計予算は、前年度に比べて約10%増の444億8千万円となっている。

※狭山市は、例えば予防接種事業費や入居公民館更新事業費、敬老事業費など、事業費別で予算編成している。そのための事業費の中身は需用費や委託料などの費目があり、事業費単位では、これらの費目を含めたものとなる。